

成章小学校

改築工事着手へ

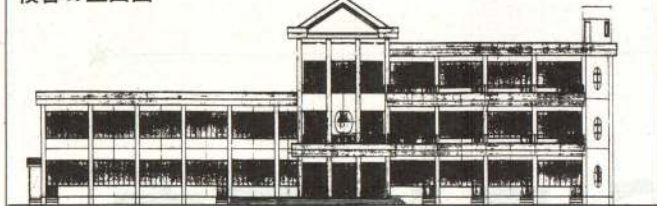
二年度から着手してきた成章小学校移転改築事業。昨年度から進めている敷地造成事業に引き続き、今年度は校舎、屋内運動場などの建設に着手する計画です。四年三月の完成を予定していますので、来春には新校舎で子供たちの元気な声が聞けそうです。

敷地面積 約3万平方メートル

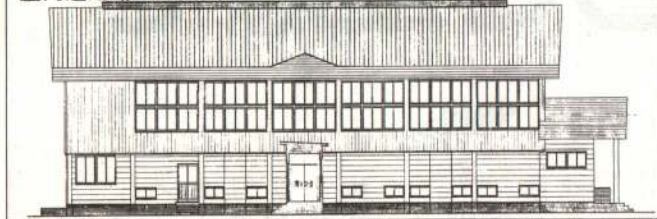
成章小学校は、校舎が老朽化し、屋内運動場は危険校舎に指定されています。また、敷地面積が

狭いということもあって、地元の人たちから全面移転改築が強く要望されていました。そのため市は、面積や環境、通学の便利さなど諸条件を総合的に考え、いくつかの候補地を選び、その中から最終的に「十二所字太平地内」を移転先に決定し、改築することになりました。

校舎の立面図



屋内運動場の立面図



この用地は、旧国道(103号)沿いであって、面積は約三万平方メートルあります。移転改築は、用地が水田であったために土盛りを必要としたこともあって、二カ年継続事業となり、初年度の二年度には用地造成工事を進めてきました。そして今年度は、校舎や屋

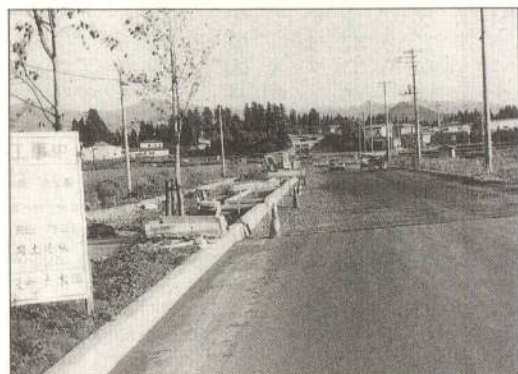
内運動場などを建設する計画を進めていきます。
校舎外壁面にカラーレリーフ
新校舎は鉄筋コンクリート三階建てで、延べ床面積四千四百五平方メートル。市内小学校では四校目のオープンスペースを採用するほか、西側にあたる外壁にカラーのアートレリーフを設置する予定です。レリーフは釈迦内小学校にもありますが、カラーレリーフは市内初です。屋内運動場は鉄骨造り平屋建て、延べ床面積は千二百三十一平方メートル。ミニバスケットボールコート二面がとれるほどの大きさで、校舎とは渡り廊下で結ばれます。なお、これらの工事は六月定例会後に着工する予定です。



十三所字太平地内の移転用地

南へ... 東バイパス

南バイパスとの接続地点が目前



△橋脚が林立。山王岱橋の工事が進む南バイパス
△南の接続点目前の東バイパス

東バイパスは、市道「狐台・長根山線」と都市計画街路「豊町・東台線」、「有浦・東台線」を結び、延長四・三キロメートルの道路になります。工事は昭和六十年度にスタートし、現在は、まだ事業化していない有浦・東台線を除く二線で、工事が済んだ部分(東台地内から柄沢地内までの約一・六キロメートル)を暫定供用しています。

市道東バイパス、国道103号南バイパス、どちらも順調に工事が進んでいます。東バイパスは南バイパスとの接続地点まであとわずか。今年度の工事も開始しました。

東バイパスは、山王岱地内で国道103号南バイパスと立体交差しますが、その地点まではもうすぐです。今年度は東台病院入り口付近から約百二十メートルの区間と、南バイパス周辺約百七十メートルの区間の改良・舗装工事を進め、四年度には狐台・長根山線の工事を完了させる予定です。一方、県が工事を進めている南バイパスは、現在「山王岱橋」の橋脚工事が行われています。東と南、両バイパスは五年度には接続される予定です。